

# 緑化だより

13 平成19年2月号



ヤマガラ：平成19年1月18日 撮影

センターの話

さんぽ道

研修会・イベント報告

1/6：春の七草を食べよう

研修会・イベント紹介

2/15：冬 of 自然探勝

2/23：冬 of 写真教室

花だより

お知らせ・案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail [ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp](mailto:ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp)

# センターの話

## 『新年度に向けて』

新しい年を迎え早や1ヶ月が過ぎますが、引き続き皆様に愛され親しまれる公園を目指して運営を続けてまいりますので、何卒ご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年4月より『ボランティアガイド』の活動を計画しています。ボランティアガイドとは、公園を案内しながら来園者に植物の説明を行って頂くボランティアです。既に植物ガイドが出来る方は受講なしで、初心者の方はセンターが実施する一定の講習会を受けられた後、月1～2回程度のガイドをして頂く予定です。

園内を案内しながら緑と触れ合える『ボランティアガイド』として活躍されるためのご参加をお待ちしています。

詳細はセンターの広報等で近日ご案内いたします。

管理責任者 正本 良忠

# さんぽ道

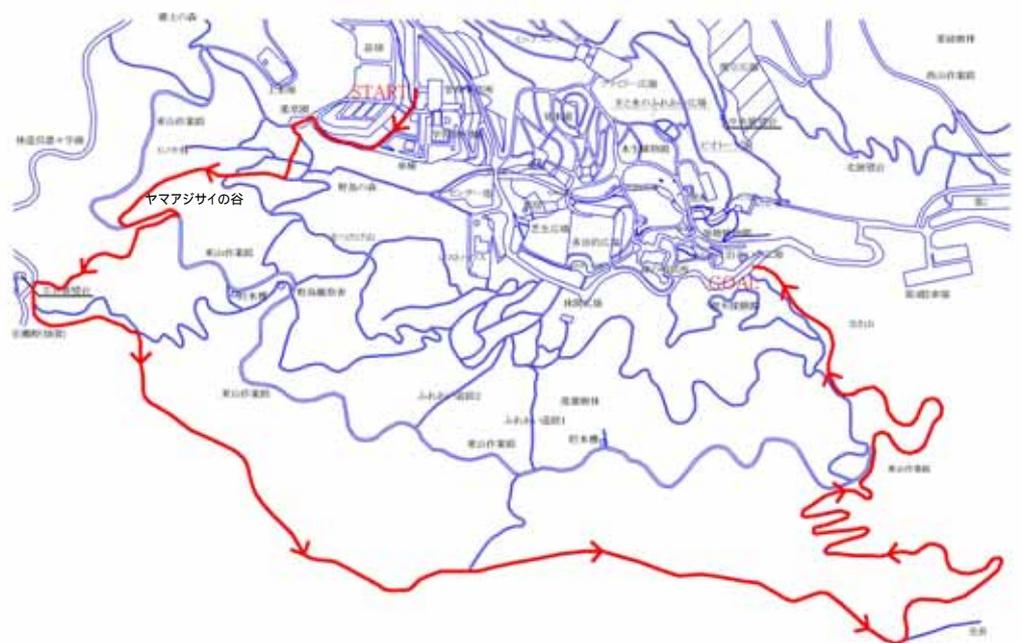
## 『立石山の道』 (延長 3.3km 所要時間 150分)

管理事務所を出発し薬草園に向かいます。左に下りて木橋を渡り、野鳥の森を左手に見ながら南に進み、谷筋のヒノキ林の中を進むとヤマアジサイの谷に出ます。(H18年7月号紹介)6月中旬の開花時期には見事な景観です。

さらに上ると東山作業路に出て左(北)に進みます。右側ののり面にはアカマツの幼樹が密に生育しています。すぐに『野鳥の森観察路』の看板があり、細い木段を上るとヤブツバキ・ヤブニッケイ・シロダモなどの常緑樹が見られ、やがてササやススキが多く見られます。林道呉婆々宇線に出ると立石展望台が見えます。

さらに立石山・長者山方面の縦走路への木段を上がります。この尾根道は散策する人が多く、踏みならされて歩きやすい道です。落葉樹のコシアブラ・ネジキ・リョウブ・コバノミツバツツジや常緑樹のアセビ・ハイノキ・ヒサカキなどが多く見られます。

尾根道をさらに進むと立石山の三角点に到着します。みどりの相談所方面へ下ると、出合いの広場に出ます。(H19年1月号紹介)



# 研修会・イベント報告

1月6日(土) 『春の七草を食べよう』

年が明けて、正月気分がまだ抜け切らない1月6日に、新春恒例の研修会『春の七草を食べよう』を開催しました。最初の20～30分は七草の説明を行い、特徴や見分け方、どのような環境に生えるかなどの説明を行った後、調理に入りました。

七草を刻む時『唐土の鳥と日本の鳥が渡らぬ先に七草祝おトントン』と七草ばやしを唱えながら行いましたが、地方によって歌詞は色々違うそうです。小学生も参加して、全員で賑やかに行いました。

お粥は七分粥です。塩で味を調べ、お粥が出来上がる直前にセリ以外の六草を入れます。茶碗に装う直前にセリを入れて出来上がりです。

参加者全員が熱々の七草粥を試食しました。この1年を無病息災で過ごされることと思います。35名の方が参加され、ケーブルテレビの取材もありました。

お正月のご馳走やお酒で少々なまった体に活を入れるために始まったとされる先人の知恵を体験していただきました。

毎年七草粥を食べられている方は、どれくらいいらっしゃるのでしょうか…。



七草粥調理

# 研修会・イベント紹介

2月15日(木) 『冬の自然探勝』 10:00～12:00 講師:植物研究家 中塚 道則

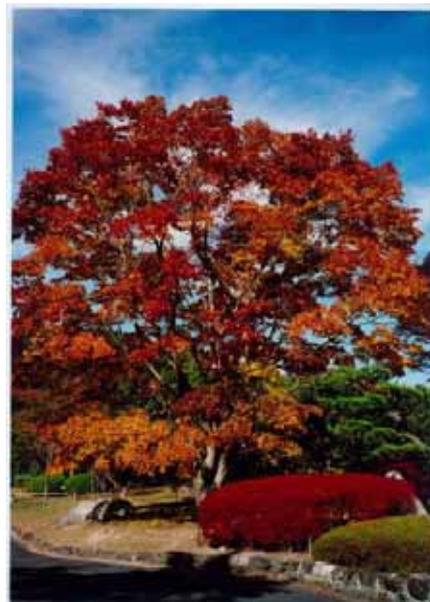
散策路を歩きながら樹木を中心に観察する予定です。県木の森から山の中に入り、薬草園へのルートを予定しています。冬季だからこそ気付く発見もあるかもしれません。寒さの厳しい時期です。温かい服装でご参加下さい。

2月23日(金) 『冬の写真教室』 10:00～12:00

講師:二科会会員 大藤 薫

18年度の写真コンクールの審査を行い、入賞作品を発表するとともに、全ての応募作品についての講評を行います。今年度のコンクールは、春から応募を行っており、緑化センターの四季折々の写真が期待されます。

「写真には興味があるけど、どんな感じで撮ればいいのか分からない」と思っている方もぜひ参加して、来年度のコンクールに出品していただけたらと思います。(コンクールへの応募は2月18日迄受付けています)



17年度特選『オオモミジ』

# 花だより

**タンポポ** キク科 タンポポ属

寒さが厳しい冬になると、草木は静かに休んでいるようですが、日当たりのよい場所に目をやると、黄色い花を見かけることがあります。タンポポです。

タンポポは大きく分けて、北アメリカから渡来した『セイヨウタンポポ』と、日本育ちの『カントウタンポポ・カンサイタンポポ・シロバナタンポポ』などがあります。

両者の見分け方は、花が咲いたときに花弁の外側に3～4重についている総苞片が下側にめくれて、舌のように先が細く、薄くなっていればセイヨウタンポポ、めくれずにぴったり付いて、先がふくらんでいるのが日本在来のタンポポになります。

現在見られるタンポポは、セイヨウタンポポがほとんどですが、これは単為生殖(雄しべと雌しべの受粉が無くても種子ができる)であることと、年中種子を生産することができるためとされています。

このように外来種により、日本古来の品種が絶滅したり、生育数が減少したりすることがありますので、気をつけたいものです。

タンポポは花を咲かせるときは立ち上がり、花が終わると倒れ、種子が熟すと少しでも遠くに飛ばすように再び立ち上がるようです。今度じっくり観察してみてください。



セイヨウタンポポ



カントウタンポポ

写真出典 <http://www.imasy.or.jp/~saexa> より

## お知らせ・ご案内

### 18年度写真コンクールについて

#### 応募の締め切りが迫っています

写真コンクールへの応募締め切りは2月18日迄です。応募点数は1人3点までで、緑化センター内で撮影されたものに限りです。サイズはキャビネサイズ(127×178mm)以上、四切ワイドサイズ(254×366mm)までです。皆様のご応募お待ちしております。詳細は応募要項をご確認いただくか管理事務所までお問い合わせ下さい。

### 冬期は凍結・積雪に注意してください

朝晩の冷え込みや積雪などでセンター周辺の道路は凍結の恐れがあります。特に明け方は注意が必要です。冬用タイヤや滑り止めを携行し、凍結などにお気をつけ下さい。

### 臨時開園のお知らせ

19年4月の月曜日は全て開園します。お花見をお楽しみ下さい。